

一般質問

3人の議員が登壇しました

議席4番

櫻井 実 議員



○防災対策について

Q 各小学校に防災倉庫を設置するが、備蓄品（入り組み品目）の調達の計画はどのようになっていくのか。

A 昨年、食缶ベーカー1500食、飲料水5,500本、ゴムボート3隻、ライフジャケット85着を購入した。今後、平成28年度に実施される広域避難計画策定結果に基づき、避難所の規模や避難者数等により、備蓄品及び数量を決めたい。

(総務部長)

Q AED（自動体外式除細動器）の設置箇所をハザードマップに記載できないか。

A ハザードマップは、現在、改訂版を印刷中であり、次回の改定の際、掲載できるか検討したい。

(参事兼防災安全課長)

Q 避難所となる各小学校構内のトイレのみでは、足りないと思われる。対策をどのように考えているのか。

A プライバシーの保護や障がい者の状況を考えての設置が望ましい。備蓄倉庫の空きを利用したトイレの設置も準備をしている。

(総務部長)

Q 自主防災組織のリーダーの養成はどのように考えているか。

A 初期消火や避難誘導等「自分たちの地域は自分たちで守る」という住民意識の高揚を図り、災害に対する認識を高めたい。これまでも、利根川沿線の行政区、各種団体、学校等において防災講演会や防災訓練を実施して、防災意識の高揚を図った。また、防災士の取得費用の助成制度を検討する等防災リーダーの育成に努めたい。

(総務部長)

Q 職員の定年退職者の補職は、どのような考え方で実施しているのか。

A 年金支給時期の延期に伴い定年退職予定者の希望調査を実施して、28年度は、新規3名、継続再任用3名の計6名を再任用で採用した。地方の人口減少に歯止めをかけ、地方の活力を上げることが目的とした地方創生政策において、地方の自立が求められる中、専門的知識、意欲、能力等を有した退職者を有効に活用するため検討委員会において適材適所な補職を検討させていただいた。なお、部長級の補職については、勤務の延長制度もあるが、本人の同意を得て、再任用制度で採用させていただいている。

(町長、総務部長)

